

採用活動と人材育成を担当するHR推進課。社員が成長するための環境づくりに取り組み、具現化していくマルタマの精鋭だ。

娯楽としてのパチンコを追求し独自の価値を生み出してきた『マルタマ』。新時代に向けた取り組みとは。

パチンコは目的ではなく理念実現のための手段

宮城で生まれ、創業69年を迎える『マルタマ』。これまで同社ならではの営業スタイルで独自のファンづくりに取り組んできた。宮城では「パチンコの『まるたま』」として親しまれ、地域から根強い支持を得ているが、マルタマパチンコではないという。

「第二次世界大戦の終戦間際、仙台も空襲を受け一面焼け野原となりました。多くの方が亡くなり、人々は悲哀にあふれていました。そんな光景を目の当たりにした時に、創業者が抱いた、『宮城をもっと活気づけて、元気にしていかなきゃならん』という信念が当社のルーツです」

そう話すのは、HR推進課の佐々木広輝さんだ。当時テレビも普及しておらず、子どもたちが公園で紙芝居を楽しんでいるのが日常風景。そんな状況の中で創業者が選んだのが、人が集まり笑顔に

なれる『娯楽場』を提供することだった。

パチンコの遊び方も今とはだいぶ違い、少額で楽しみ、お菓子に交換して家へ帰るというアットホームなもの。ギャングル性を高めた営業スタイルが業界の主流となっている現在でも、同社の信念は一切揺らいでいない。提供しているのは訪れた人々の心が温まるような地域のコミュニティ空間だ。

「パチンコはあくまで手段であり、『地域を活気づける地域を豊かにする』という当社が目指すゴールは今も昔も変わっていません」。居心地のよさを追求したホールを歩きながら佐々木さんは続ける。

パチンコ、地域活動そしてその先へ

時代背景の中でパチンコを選択してきた同社だが、世の中の変化とともに、活動の領域も広がっている。積極的に取り組んできたのが地域貢献活動だ。

「宮城元気の『わ』プロジェクト」では、パチンコホールを活用した地元作家の作品展示会や老人ホーム・介護施設でのリハビリを兼ねた出張

娯楽の提供、地域活動、人づくり
すべては宮城を元気にするために

求人情報

■初任給 220,000円～

■福利厚生 雇用、健康、厚生年金、労災保険／役職手当、給食手当、家族手当、通勤手当、住宅手当、残業手当、深夜残業手当、単身赴任手当

■休日休暇

【本社】年間101日
【店舗】月7日シフト制
有給休暇他

■職種

総合職（店舗スタッフ、事務スタッフ、本社スタッフ）

■インターンシップ受け入れ／あり

■大学生アルバイト受け入れ／あり

■採用担当者連絡先

TEL／022-227-1341

E-mail／recruit@marutama.co.jp

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

■設立 1950年6月
■代表 竹田 隆
■資本金 2,000万円
■従業員数 113人
(男73人／女40人)

〒984-0075
仙台市若林区清水小路8
マルタマファイブリッジ3F
(本社)
TEL／022-227-1341
FAX／022-262-7325
<https://www.maru-tama.com/>

株式会社マルタマ

パチンコ業、不動産賃貸業

YOUNG STAFF INTERVIEW

会社に入社して、**一番やりがいを感じたことは?**
 若手スタッフに聞いた



トラブル対応など、 お客様のお役に立てた時!

お客様のお役に立てたと実感できた時です。ホールではお客様との距離が近く、直接反応をいただけるためやりがいを感じやすいです。トラブル対応など日々の積み重ねが一番のやりがいに繋がっています。

profile
 【名前】菊地大輝 【在籍年数】11ヶ月
 【配属】パチンコまるたま山田店

仕事を通じて自分自身も
磨かれます!



業務の先にいる人の表情が 見えた時が嬉しいです。

採用活動で出会い、その後活躍されている姿を見た時や、みやぎ元気の「わ」プロジェクトで地域の方々の笑顔に触れた時など、日々の業務の先にいる人の成長や喜びを実感できた時にやりがいを感じます。

profile
 【名前】橋本友理恵 【在籍年数】1年3ヶ月
 【配属】総務部HR推進課

とても温かい気持ちに
させてもらっています



社員の成長意欲を 会社が全力で応援

「社員の意欲に応えるために、会社として最大限にできることを考えて私たちが具体化します。採用活動でお会いした全ての縁を大切にします」とHR推進課・佐々木広輝さん(写真左)。

研修施設イノベーションセンター始動

イノベーションセンターに広いフリースペースを用意。社員が自由に集まり活動できるスペースとして開放している。知識や経験を共有したり、リフレッシュの会を開催したりと、日々の業務とは違う学びの場として利用されている。



**成長できる職場環境と
きめ細かなフォロワー体制**
 同社は入社後の充実した研修制度はもちろんのこと、新入社員が現場でスキルを発揮しやすいようにきめ細かなフォロワー体制を整えている。
 山田店に新設したイノベーションセンターには、遊技台の扱いを学べる研修ルームやスタディールーム、フリースペースを設けた。フリースペースは社員が気軽に集い、能動的に利用している。また、週1回「自己啓発プロジェクト」を実施。分からないことを今さら質問しにくい、もつと仕事ができるようになりたなど、あらゆる相談をHR推進課がマンツーマンで対応。一緒に解決を図り、社員がワンステップ成長できるように後押しをしている。
 「豊かな宮城の実現」に向けてまい進する同社。社内は前向きなエネルギーに満ちあふれている。「マルチタマ」は社員の力を原動力に、これからは未来に向かって大きく、着実に成長を続けるだろう。

パチンコ大会を開催。秋の定禅寺ジャズフェスではブース出店をして宮城のおいしいものを販売している。ほかにも地域の学生とともに「音のわフェスティバル」や自治体と協力した「心をつなぐ若林シーサイドマラソン」を開催するなど幅広い活動内容で、新しい地域の「わ」がどんどん広がっている。
 同社の基幹事業の一つである不動産業においても大きな動きがあるようだ。
 「培ってきた空間づくりのノウハウを生かし、地域の学生に向けた次世代型の学生寮の建設に取り掛かっています。スマートハウスに対応したIoT機器の導入やコミュニケーション空間、スタディールームの設置も計画中で、学生同士が良い意味で刺激し合える、ワクワクするような住空間を提供したいと考えています」と楽そうに語るのは経営企画室の竹田恵理子さんだ。20〜30代の若手社員が中心に立つてプロジェクトを進めており、新入社員もプランニングに参加してアイデアを出している。この学生寮には、不動産業という側面だけでなく、学生という宮城の将来

を担う人づくりを通じて地域に恩返しをしたいという想いも込められているという。
**価値観を分かち合い
未来を支える仲間づくり**
 インターネットの普及により、人々のライフスタイルは変化し、余暇の過ごし方も多様化している。「産業全体の構造が変わりつつあります。最新のテクノロジーにより今後もこの動きは加速するでしょう。そんな中、地域のために何ができるのか。今こそ真価が問われていると感じています」と竹田さん。そのために必要となるのは、一緒に未来を創造する仲間だ。
 「夢が大きいほど、乗り越えないといけない課題も多くなり、創造力、提案力、実行力など幅広い力が必要となります。そのなかで私たちが求めているのは、パチンコ店の社員さんではなく、未来に挑める真に魅力的な人材です。地域社会に貢献したい仲間と共にワクワクする未来を創りたい。そんな情熱にあふれる仲間と出会うことです」と語る佐々木さんの言葉に、若手社員の目も力強く輝く。

03

人とふれあい、地域のために自分が成長を続けること



自己啓発プロジェクトを担当するHR推進課・鈴木貴弘さん。頼れる相談相手として社員をサポートする。



地域清掃や老人ホームの訪問活動、イベント出店など様々な地域活動に取り組み、元気のわを広げている。



竹田隆代表取締役社長は「パチンコが地域を元気にする」という確固たる信念のもと、娯楽の提供を追求する。



新入社員と管理職の距離感が近く、経営陣と触れ合うことで社会人として幅広い知識と経験が得られる。



「宮城のために何かをしたい。その想いを一緒にカタチにしていきたい」と経営企画室長・竹田恵理子さん。